

シンポジウム「宇宙をわたる^{いのち}生命」

日時：10月8日（月、体育の日）参加費無料

13:00-15:00 公開講演会

15:15-17:00 ワークショップ

場所：科学技術館（北の丸公園）、(<http://www.jsf.or.jp/map/>)

玄関入ってすぐのエレベータで6階、第一会議室

プログラム

(1) 公開講演会 座長 山下雅道（宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究本部）

13:00-13:05 開会の挨拶 山岸明彦（東京薬科大学）

13:05-13:35 「生命の起源に係わる今日の諸問題」

大島泰郎（東京工業大学名誉教授・東京薬科大学名誉教授）

13:35-14:05 「国際宇宙ステーション計画と曝露部利用計画」

織田裕久（宇宙航空研究開発機構・宇宙環境利用センター）

14:05-14:30 「スターダスト計画とサンプルリターン、たんぽぽ計画」

矢野 創（宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究本部）

14:30-15:00 「高層大気での微生物探査とたんぽぽ計画」

山岸明彦（東京薬科大学）

15:00-15:15 休憩

(2) 公開ワークショップ 座長：矢野 創（宇宙科学研究本部）

15:15-15:30 横堀伸一（東京薬科大学）「微生物の宇宙生存可能性」

15:30-15:45 小林憲正（横浜国立大学）「宇宙での有機物採集」

15:45-16:00 中嶋 悟（大阪大学）「赤外分光による有機物探査」

16:00-16:15 三田 肇（福岡工業大学）「有機物の微量分析」

16:15-16:30 河合秀幸（千葉大学）「超低密度エアロゲルの宇宙利用」

16:30-16:45 橋本博文（筑波大学）「宇宙微粒子採集装置の設計」

16:45-16:55 総合討論

16:55-17:00 閉会の挨拶 小林憲正（横浜国立大学）

国内8機関の研究者で構成されるワーキンググループでは、国際宇宙ステーションで微生物を採集することから生命が地球から他の天体へ移動した可能性を検討しようとしています。また、生命の誕生の材料となる有機高分子化合物が、宇宙塵と共に地球へ到達する可能性を、検討しようとしています。この計画に関して広く理解して頂くための公開講演会と、専門家に議論して頂くための公開ワークショップを開催いたします。興味を持たれる多くの方の参加を御願いたします。

主催：宇宙環境利用科学研究ワーキンググループ「たんぽぽ」

（問合せ：東京薬科大学生命科学部細胞機能学研究室 電話 0426-76-7141）